

ダイバーシティ就労支援機構  
2019年度事業報告

2020年8月26日 ダイバーシティ就労支援機構理事会

1. 理事会の開催

- 第1回理事会
- 第2回理事会

2. 日本財団「WORK! DIVERSITY プロジェクト」を業務受託し、以下の事業を行った。

(1) 全体委員会の開催

- 第2回全体委員会 2019年4月22日  
就労困難者支援の基本的方向について議論した。

(2) 企画委員会の開催

- ミニ企画委員会 2019年5月13日  
就労困難者支援の基本的方向についてフリートーキングを行った。

第6回企画委員会 2019年5月15日

就労支援の在り方について奥田知志氏(NPO法人抱樸理事長)から、ヒアリングし議論するとともに、本プロジェクトで検討している就労支援策の効果を実証するためのモデル事業のあり方につき議論をした。

第7回企画委員会 2019年6月24日

本研究プロジェクトで提起された就労支援策の効果を実証するため、モデル事業の実施を予定している。そのスキームにつき、議論した。

第8回企画委員会 2019年7月17日

障害者+困難者の就労支援の取り組みについて、山内民興氏(社会福祉法人ぶろぼの理事長)からヒアリングし、議論した。

第9回企画委員会 2019年7月24日

地域共生の推進と就職氷河期対策の強化について、伊原和人厚生労働省厚生労働政策統括官、山田雅彦厚生労働省総括審議官、野崎伸一厚生労働省広報室長からヒアリングし、議論した。

第 10 回企画委員会 2019 年 10 月 24 日

モデル事業について、各地からの参入の動向や、事業の対象範囲、実施体制、自治体の経費負担等を議論した。

第 11 回企画委員会 2019 年 11 月 22 日

西岡正次氏(A'ワーク創造館就労支援室長)から、「生活困窮者自立支援制度のインパクトと課題」の問題提起があり、ダイバーシティ就労事業の進め方につき、意見交換を行った。

第 12 回企画委員会 2019 年 12 月 25 日

モデル事業の枠組みの見直しや日本財団助成ガイドラインについて議論した。

第 13 回企画委員会 2020 年 1 月 22 日

就労支援に関する、いわゆる静岡方式について、津富宏氏(静岡県立大学国際関係学部教授・NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡理事長)からヒアリングし、議論した。

第 14 回企画委員会 2020 年 2 月 25 日

西岡正次氏(A'ワーク創造館就労支援室長)から、「働きづらい人々のキャリアラダー・モデルの創設 - 大阪地域における態様横断的就労支援モデル 2.0 の創出」の報告、事務局から、「就労関係施策の整理表」、「(対象者類型別)効果的就労支援策の組合せ案」の説明があり、意見交換を行った。

(3) 経済・財政・社会保障収支・労働需給バランス検討部会：

第 4 回部会 2019 年 6 月 27 日

経済・財政・社会保障収支や労働需給のバランスを推計するためにモデル事業からどのような情報を収集できるか、就労困難者数を推計するためにどのような統計を利用できるか、等について議論した。

第 5 回部会 2019 年 8 月 7 日

モデル事業でのデータ収集方法、経済・財政・社会保障収支・労働需給バランスの推計方法について議論した。

(4) 海外の状況整理部会：

第 4 回部会 2019 年 6 月 21 日

各委員からの 2019 年度研究活動計画の報告とそれに基づく調整を行い、障害者に

対する就業対策とその他の働きづらさを抱える者に対する就業対策を中心に、基礎資料をまとめる合意が得られた。

第5回部会 2019年12月5日

各国(英国、フランス、フィンランド)の障害者等の就労支援対策の動向、欧州諸国におけるソーシャルファームの動向について議論した。

第6回部会 2020年1月9日

各国(英国、ドイツ、デンマーク)の障害者等の就労支援対策の動向、世界・韓国におけるソーシャルファームについて議論した。

第7回部会 2020年2月17日

海外状況整理部会報告書構成について最終確認し、それに基づく原稿執筆の了解を頂くとともに、2020年度での検討内容を議論した。

(5) 有識者ヒアリングの実施

第1回ヒアリング 2019年6月4日

引きこもり者等への就労支援をテーマに、菊池まゆみ氏(秋田県藤里町社会福祉協議会会長)、谷口仁史氏(NPO スチューデント・サポート・フェイス代表理事)に講師をお願いし議論した。

第2回ヒアリング 2019年11月8日

難病患者を中心利用者とする就労継続支援A型事業所を営む(NPO)京都難病支援パッションの上野山裕久理事長と(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者職業総合センターの春名由一郎副統括研究員をお招きし、お二人の現在の取組み状況を報告していただき、患者団体の(一般社団法人)日本難病・疾病団体協議会の辻邦夫常務理事も交え、意見交換を行った。

(6) 1st WORK! DIVERSITY フォーラムの開催

2019年5月15日、日本財団2階大会議室で、1st WORK! DIVERSITY フォーラム(第1回ダイバーシティ就労支援フォーラム)を開催した。清家篤先生(ダイバーシティ就労支援研究プラットフォーム全体委員会委員長、慶應義塾前塾長、日本私立学校振興・共済事業団理事長)から「働くことの意味」と題した基調講演が行われた後、駒村康平慶應義塾大学経済学部教授(ダイバーシティ就労支援研究プラットフォーム企画委員会委員長)の座長の下、自由民主党穴見陽一衆議院議員、山本博司公明党参議院議員、川田龍平立憲民主党参議院議員、中崎ひとみ(社福)共生シンフォニ

一常務理事、金友久美子共同通信社経済部記者によるパネルディスカッションが開催され、ダイバーシティ就労支援事業の意義等につき、活発な意見交換が行われた。

さらに、一般社団法人ダイバーシティ就労支援機構岩田代表理事から 2018 年度の活動報告について、公益財団法人日本財団公益事業部竹村利道シニアオフィサーから WORK! DIVERSITY プロジェクト（ダイバーシティ就労支援研究プラットフォーム）の今後の動きについてそれぞれ説明があった。

#### （ 7 ）日本財団が主催するモデル事業の実施支援

各自治体からのヒアリング等、適切なモデル事業選定のための調整業務を財団とともにいった。

### 3 . 日本財団 WORK! DIVERSITY プロジェクト 2019 年度調査研究報告書の作成

以下の報告書を、日本財団に提出した。

（ 1 ）総合報告書

（ 2 ）「経済・財政・社会保障収支・労働需給バランス検討部会」報告書

（ 3 ）「海外状況整理部会」報告書

（ 4 ）1st WORK! DIVERSITY フォーラム報告書

### 4 . ホームページを通じた情報提供

当法人ホームページの「ダイバーシティ関連情報」に、「関連団体情報」を新たに加えるとともに、政策・制度情報、調査研究情報、海外情報の充実を図った。